

「見附市地域スポーツ・文化クラブ活動環境整備方針」（令和5年 3月）を策定しました。

見附市では、令和4年度において、見附市部活動の在り方検討委員会を中心に、国や県の動向を踏まえつつ、見附の子どもたちのスポーツ・文化活動を持続可能な形で支援するための議論を進めました。その議論の内容を基に、市では令和5年3月に「見附市地域スポーツ・文化クラブ活動環境整備方針」をまとめました。以下にその内容の概略を紹介いたします。詳細については、見附市ホームページに掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

（１）見附市の考え方

子どもたちのスポーツ・文化活動を支援するためには、自由に選択できる持続可能で多様な活動環境を整えていくことが大切です。そのためには、行政、学校、スポーツ・文化団体のみではなく、見附市全体で子どもたちを支えるという意識の中で取組を進めていく必要があります。

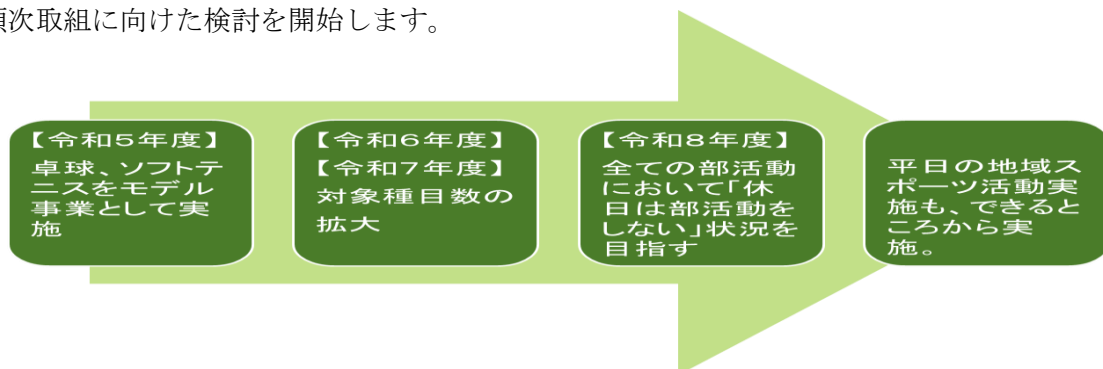
また、「現在、学校で行われている部活動をそのまま地域で実施する」のではなく、「地域で子どもたちの新たな活動環境を整備する」ことが目的であるため、部活動の種目に限らず、子どもたちの選択の幅を広げるために多様なスポーツ・文化活動の環境を整えていくことが必要です。

（２）見附市の取組み

①見附市におけるスケジュール

見附市では、国の方針に基づき、令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」と位置づけ、取り組みを進めていきます。

まずは休日における地域活動を促進させます。令和5年度はモデル種目として卓球・ソフトテニスの種目で、地域の団体による活動を開始します。また5年度中に他の競技の団体へも説明や協議を実施し、令和6,7年度は希望する団体による地域活動を行い、活動の幅を広げていきます。令和8年度当初には、市内の中学校で休日の部活動を実施しない状態を目指します。平日の活動についてはできるところから順次取組に向けた検討を開始します。



また、「現在、学校で行われている部活動をそのまま地域で実施する」のではなく、「地域で子どもたちの新たな活動環境を整備する」ことが目的であるため、部活動の種目に限らず、子どもたちの選択の幅を広げるために多様なスポーツ・文化活動の環境を整えていくことが必要です。活動内容においても、部活動と同様の対応を求めるのではなく、地域で行われているスポーツ・文化活動の実状に応じて、可能な範囲でできる活動の仕組みを整えていくことが、持続可能性という観点から重要となります。

②進め方

改革推進期間においては、見附市が運営主体として進めていきます。見附市にコーディネーターを配置し、運営主体・実施主体・学校の連携を強化し、中学生にとって混乱の少ない活動の実施を目指しています。

市民への説明の様子

「中学校部活動域移行 講演会」 令和5年3月28日(火)19:00~20:00 ネーブルみつけ

見附市社会教育・スポーツ推進審議会、まちづくり課、スポーツ協会の共催による講演会を開催しました。見附市部活動の在り方検討委員会 委員長である、新潟医療福祉大学 西原 康行様を講師として迎え、国や県の動向を説明いただきました。また、見附市の取組について検討委員会事務局である、教育委員会学校教育課より説明を行いました。

当日は、市内の小中学生に係るスポーツ関係者や保護者、市民の皆さん、約 50 名から参加いただきました。



卓球 中学生の地域活動について

○見附市卓球連盟の指導者により、中学生の卓球の地域活動が始まっています。

- ・市内 4 中学校の卓球部員の保護者様向けに、3 月に説明会を実施しました。
- ・市内 4 中学校の卓球部に入部を予定している 1 年生の保護者様には、学校等を通じて、地域活動への参加意向書を取りまとめました。

※卓球の地域活動に興味のある、「卓球部所属以外の中学生」の参加方法については、下記のようにお願いします。

- ①「各中学校」または「ネーブルみつけ窓口」にて、募集チラシと申込書をお渡しします。
各中学校では、各学校の地域移行担当の先生または教頭先生等に申し出てください。
- ②各自で申込書と、保険料をお子さんの通う中学校の地域移行の担当の先生または、教頭先生へお渡しください。
- ③申し込み書は、教育委員会・まちづくり課を通して卓球連盟へ届きます。受理されたのち、指導者や、直近の練習日等を紹介します。



見附のイメージ
キャラクター ミッケ

【見附市部活動の在り方検討委員会 事務局】

- ・地域移行と学校の関連について 見附市教育委員会学校教育課 62-1700 (内線 430,431)
- ・地域活動の内容、指導者育成等 見附市まちづくり課文化スポーツ振興室 62-7801
- ・各校の個別の部活動に関わること 市内各中学校へ